

公共下水道台帳用資料作成特記仕様書

改良工事編

下記の要領により公共下水道台帳用資料を作成し、工事の完成時に竣工図及び次のものを提出すること。なお、提出方法は原則電子データでの提出とする。

1. 施工箇所図（PDF形式）

提出図面は下記に該当するすべてのものを表示方法に従って記載すること。

(1) 全線ライニング工（管渠・取付管）

(2) 部分ライニング工（管渠・取付管）

(3) 人孔改良工

蓋替え工事の場合のみ施工箇所図に「蓋替え」と記載すること

(4) 柵改良工

(5) 柵設置工

柵を設置した場合、柵取付管布設工一覧表に必要な事項を調査し、施工箇所図には、離れ距離、追加距離を記載すること

(6) 取付管布設工

取付管を布設した場合、柵取付管布設工一覧表に必要な事項を調査し、施工箇所図には、管種、管断面、管径を記載すること

(7) 取付管廃止

処置内容を施工箇所図に記載すること

例) モルタル注入 etc

(8) 取付管休止

処置内容を施工箇所図に記載すること

例) キャップ止め etc

(9) 柵取付管台帳未整備

台帳に記載されていない柵取付管があった場合、台帳未整備一覧表に必要な事項を調査し、施工箇所図には、管種、管断面、管径、離れ距離、追加距離を記載すること

(10) 取付管台帳誤記入

台帳に記載されているが、現地には存在しない場合に記載すること














(11) 台帳記号訂正

台帳に記載されている内容と異なる場合に記載すること

例) 台帳では、管径が150であるが、布設されている管径は、100であった場合

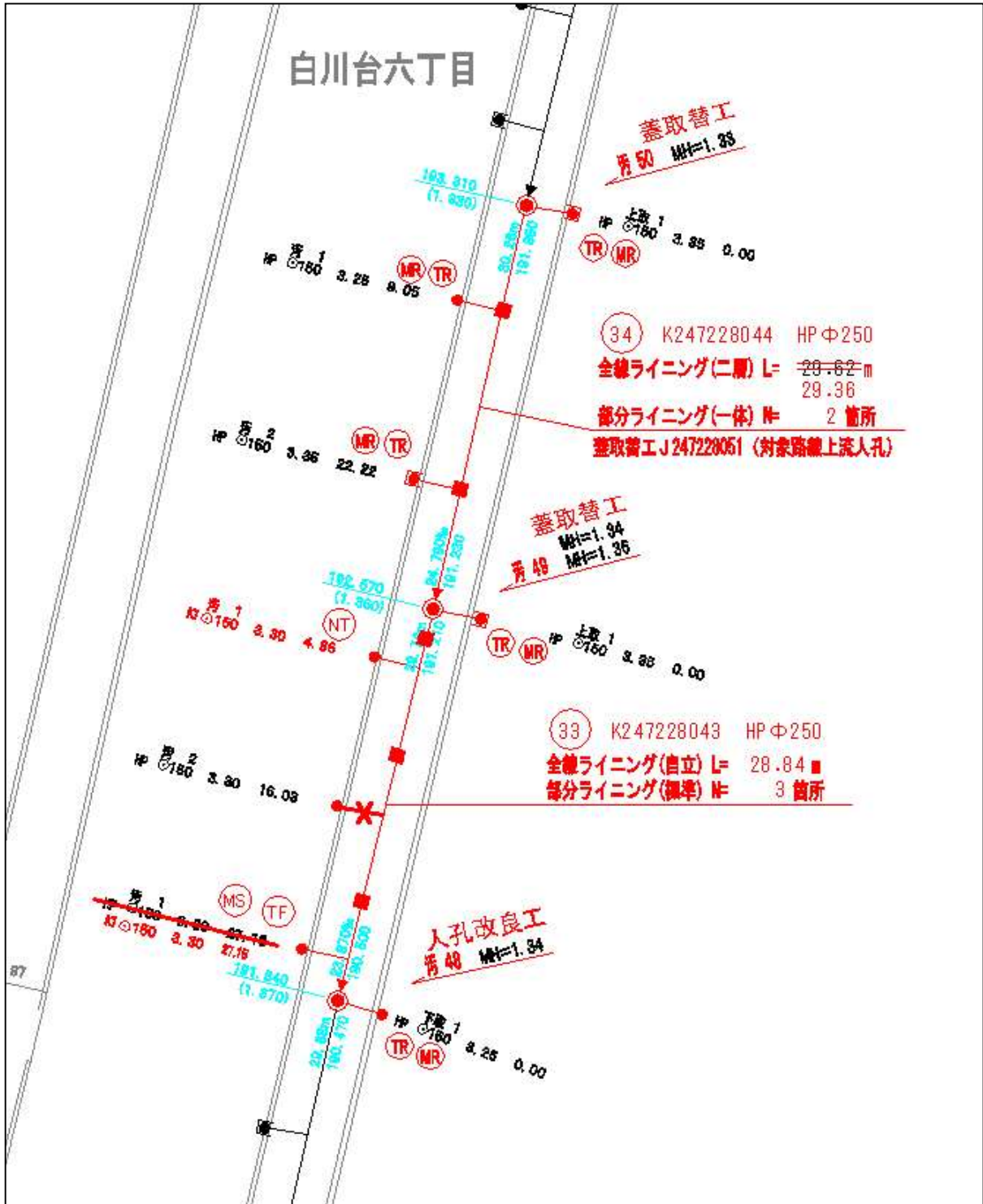
◆ 施工箇所図凡例

施工箇所図には、下記の凡例に基づいて記載すること

内容	表示方法	
全線ライニング工		
部分ライニング工		
取付管ライニング工	(TR)	
人孔改良工		
柵改良工	(MR)	
柵設置工	(MS)	
取付管布設工	(TF)	
取付管廃止(モルタル注入等)	(TH)	
取付管休止(キャップ止め等)	(TK)	
柵取付管撤去	(TT)	
柵取付管台帳未整備	(NT)	
取付管台帳誤記入		
台帳記号訂正		

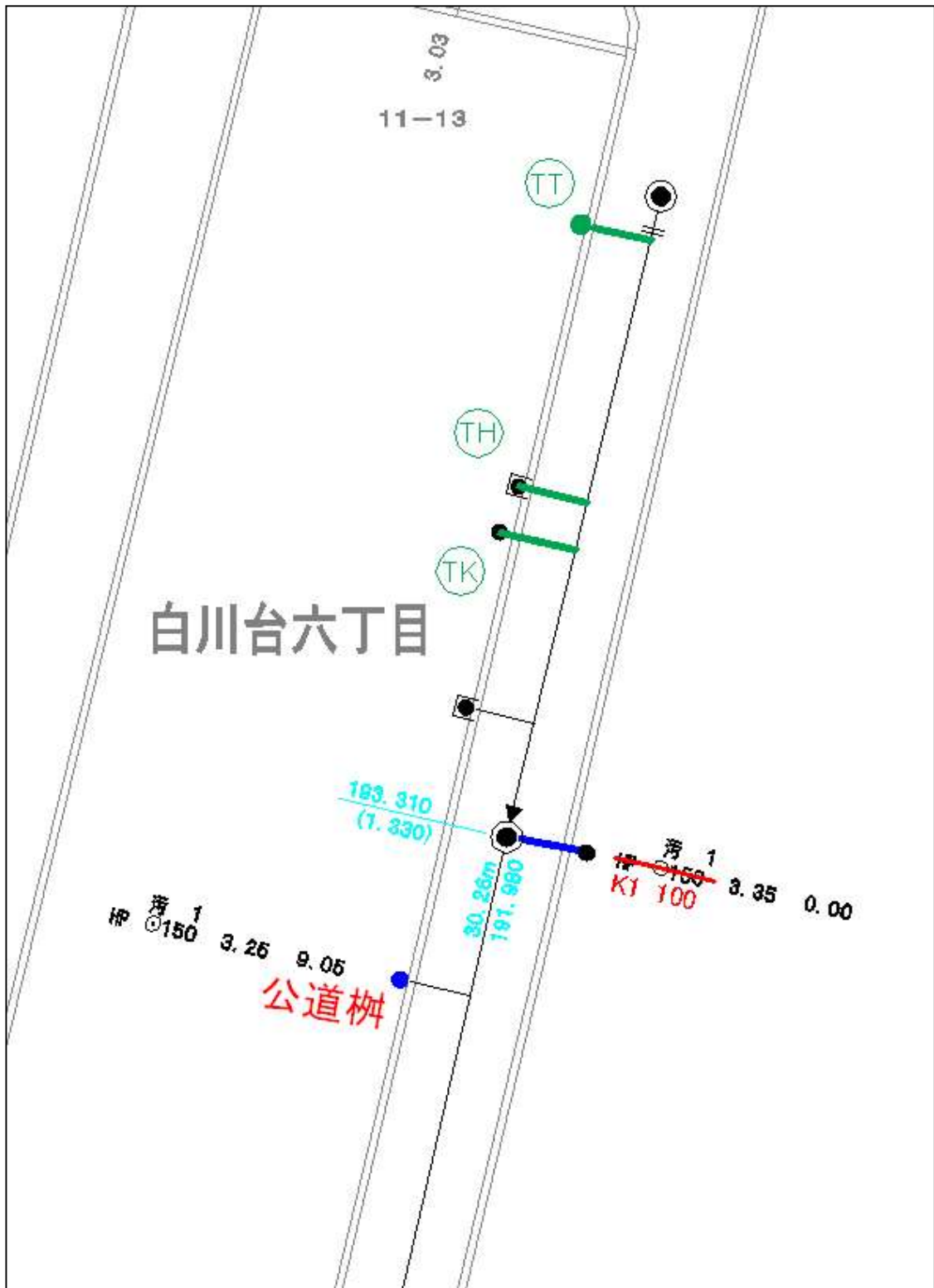
◆ 施工箇所図記載例 1

全線ライニング工、部分ライニング工、取付管ライニング工、人孔改良工
 柵改良工、柵設置工、取付管布設工、柵取付管台帳未整備



◆施工箇所図記載例2

樹取付管撤去、取付管廃止、取付管休止、台帳記号訂正



2. 施工一覧表 (Excel 形式)

◆全線ライニング施工一覧表 (管渠)

項目	説明
路線番号	施工箇所図と施工箇所一覧表と対比させるための番号
管渠番号	施工箇所対象管渠番号
上流側人孔番号	施工箇所対象管渠の上流側の人孔番号
下流側人孔番号	施工箇所対象管渠の下流側の人孔番号
管径	施工箇所対象管渠の管径
補修延長	ライニング延長
補修種別	一覧より選択
工事内容	一覧より選択
補修工法名	一覧より選択
備考	その他特筆すべき事項があった場合に記入

◆全線ライニング施工一覧表 (取付管)

項目	説明
路線番号	施工箇所図と施工箇所一覧表と対比させるための番号 施工箇所対象取付管が接続する路線番号を記入
管渠番号	施工箇所対象取付管が接続する管渠番号
上流人孔からの 施工位置	取付管が接続している位置を上流人孔から計測
上流側から見た 取付管の位置	上流人孔から見て取付管の位置が「右」or「左」 一覧より選択
管径	施工箇所対象取付管の管径
補修延長	ライニング延長
工事内容	一覧より選択
補修工法名	一覧より選択
宅地名	施工箇所対象取付管を使用している家屋名称または表札情報
備考	その他特筆すべき事項があった場合に記入

◆部分ライニング施工一覧表 (管渠)

項目	説明
路線番号	施工箇所図と施工箇所一覧表と対比させるための番号
管渠番号	施工箇所対象管渠番号
上流側人孔番号	施工箇所対象管渠の上流側の人孔番号
下流側人孔番号	施工箇所対象管渠の下流側の人孔番号
管径	施工箇所対象管渠の管径
標準型上流人孔からの施 工位置	取付管が接続している位置を上流人孔から計測
標準型補修延長	ライニング延長
取付管一体型上流人孔 からの施工位置	取付管が接続している位置を上流人孔から計測
取付管一体型上流側か ら見た取付管の位置	上流人孔から見て取付管の位置が「右」or「左」 一覧より選択
取付管一体型補修延長	ライニング延長
工事内容	一覧より選択
補修工法名	一覧より選択
工事部位	一覧より選択
備考	その他特筆すべき事項があった場合に記入

◆部分ライニング施工一覧表（取付管）

項目	説明
路線番号	施工箇所図と施工箇所一覧表と対比させるための番号 施工箇所対象取付管が接続する路線番号を記入
管渠番号	施工箇所対象取付管が接続する管渠番号
上流人孔からの 施工位置	取付管が接続している位置を上流人孔から計測
上流側から見た 取付管の位置	上流人孔から見て取付管の位置が「右」or「左」 一覧より選択
管径	施工箇所対象取付管の管径
補修延長	ライニング延長
補修工法名	一覧より選択
宅地名	施工箇所対象取付管を使用している家屋名称または表札情報
備考	その他特筆すべき事項があった場合に記入

◆人孔改良工施工一覧表

項目	説明
路線番号	施工箇所図と施工箇所一覧表と対比させるための番号 下流側に接続している路線番号を記入
人孔番号	施工箇所対象人孔番号
人孔種別	一覧より選択
補修箇所数	補修箇所数
補修面積	合計補修面積
工事内容	一覧より選択
補修工法名	一覧より選択
工事部位	一覧より選択
蓋種別	蓋替え時のみ一覧より選択
足掛金物取替箇所	足掛金物取替箇所数
備考	その他特筆すべき事項があった場合に記入

◆柵改良工施工一覧表

項目	説明
路線番号	施工箇所図と施工箇所一覧表と対比させるための番号 施工箇所対象柵の下流側に位置する路線番号を記入
管渠番号	施工箇所対象柵の下流側に位置する管渠番号
上流人孔からの施工 位置	柵の位置を上流人孔から計測
上流側から見た柵の 位置	上流人孔から見て柵の位置が「右」or「左」 一覧より選択
柵深さ	柵深さ
補修面積	補修面積
工事内容	一覧より選択
補修工法名	一覧より選択
柵分類	一覧より選択
柵種別	一覧より選択
備考	その他特筆すべき事項があった場合に記入

◆柵取付管布設工一覧表（MS，TF）

項目	説明
路線番号	施工箇所図と施工箇所一覧表と対比させるための番号 施工箇所対象柵取付管が接続する路線番号を記入
管渠番号	布設した柵取付管が接続する管渠番号
柵分類	一覧より選択
柵種別	一覧より選択
柵蓋種別	一覧より選択
取付管断面	一覧より選択
取付管管径	布設した取付管の管径
取付管管種	一覧より選択
副管有無	副管が「有」or「無」を一覧より選択
副管管径	副管が有る場合、副管の管径
副管高さ	副管が有る場合、副管の高さ
離れ距離	接続管渠より計測した柵の位置
追加距離	上流人孔より計測した柵の位置
柵の方向	上流人孔から見て柵の位置が「右」or「左」を一覧より選択
備考	その他特筆すべき事項があった場合に記入

◆台帳未整備箇所一覧表（NT）

項目	説明
路線番号	施工箇所図と施工箇所一覧表と対比させるための番号 施工箇所対象柵取付管が接続する路線番号を記入
管渠番号	布設した柵取付管が接続する管渠番号
柵分類	一覧より選択
柵種別	一覧より選択
柵蓋種別	一覧より選択
取付管断面	一覧より選択
取付管管径	布設した取付管の管径
取付管管種	一覧より選択
副管有無	副管が「有」or「無」を一覧より選択
副管管径	副管が有る場合、副管の管径
副管高さ	副管が有る場合、副管の高さ
離れ距離	接続管渠より計測した柵の位置
追加距離	上流人孔より計測した柵の位置
柵の方向	上流人孔から見て柵の位置が「右」or「左」を一覧より選択
備考	その他特筆すべき事項があった場合に記入

3. 注意事項：

◆提出資料については次のことに留意すること。

(1) 施工箇所図に使用する台帳図は、最新の図面を使用すること。

神戸市下水道台帳閲覧システムの更新時期は、4月、8月、12月に行う。

(2) 施工箇所図に使用する図面縮尺は、500分の1とすること。

(3) 路線番号は、施工箇所図内で一連番号とすること。

(4) 施工箇所図に、台帳作成のために必要な事項(撤去、廃止、休止、台帳未整備、台帳誤入力等)は、記載漏れのないようにすること。

(5) 施工箇所図と施工一覧表の整合性を保つこと。

(6) 施工一覧表とは、

全線ライニング施工一覧表(管渠)

全線ライニング施工一覧表(取付管)

部分ライニング施工一覧表(管渠)

部分ライニング施工一覧表(取付管)

人孔改良工施工一覧表

柵改良工施工箇所一覧表

柵取付管布設工一覧表

台帳未整備箇所一覧表

の8種類の一覧表のことを指す。

(7) ファイル名称は、施工箇所図の図面名称と同じ名前を付けること。

(8) 施工一覧表作成時、「更生工法」以外は、必ずその一覧表より選択するものとし「更生工法」に限り一覧にないものを使用した場合は、施工一覧表にそのことを明記し、検査時に担当監督員に報告すること。

◆ 参考資料

管 種	不明	*
	鉄筋コンクリート管	A1
	鉄筋コンクリート特厚管(1種)	B1
	鉄筋コンクリート半割管	A2
	推進工法用鉄筋コンクリート管	A3
	シールド工法用標準セグメント	A44
	ヒューム管	HP
	重圧管	J
	小口径推進用鉄筋コンクリート管	A6
	鉄筋コンクリート特厚管(2種)	B2
	硬質塩化ビニール管(丸型)	K1
	強化プラスチック複合管	K2
	硬質塩化ビニール卵形管	K3
	高剛性硬質塩化ビニール卵形管	K4
	高剛性硬質塩化ビニール管	K5
	推進工法用硬質塩化ビニール管	K6
	硬質塩化ビニール管	VP
	下水道用リブ付硬質塩化ビニール管	K13
	ステンレス管	SU
	塩化ビニールライニング鋼管	S
	陶管	T
	鋼管	ST
	鉄筋コンクリート	SC
	無筋コンクリート	C
	コンクリートブロック	CB
	プレキャスト	PC
	煉瓦	BR
	石積	M
	モルタルライニングダクタイル鑄鉄管F. C. D.	G1
	推進工法用ダクタイル鑄鉄管	G2
	ダクタイル鑄鉄管D. C. I. P.	G3
	ダクタイル鑄鉄管(内面モルタルライニング)	DCIP
	ダクタイル鑄鉄管(内面エポキシ樹脂塗装)	DCIP
	耐衝撃性硬質塩化ビニール管H. I. V. P.	H
	ポリエチレン管(協会規格)	P1
	リブ付ポリエチレン管(協会規格)	P2
	送水用ポリエチレン管	PW
	高圧送水用ポリエチレン管	PM
	地熱水引揚用ポリエチレン管	PG
	工場配管用ポリエチレン管	PX
	地冷用ポリエチレン管	PH
	軟質ポリエチレン管	PE
	波状ポリエチレン管	PH

管 断 面	不明
	円形管
	矩形管
	馬蹄形管
	卵形管
	背割り管(円形)
	背割り管(矩形)
	複断面(暗渠)
	台形渠(暗渠)
	半円管
	複断面(円形)
	矩形管(開渠)
	台形渠(開渠)
	複断面(開渠)
	キャブ
	共同溝
円形2連管	
矩形2連管	
U型溝	
蓋掛けU型溝	
L型溝	

人 孔 種 別	不明
	1号人孔
	1号人孔(V型)
	1号人孔(U型)
	1号人孔(JIS型)
	2号人孔
	2号人孔(V-1型)
	2号人孔(V-2型)
	2号人孔(U-1型)
	2号人孔(U-2型)
	3号人孔
	3号人孔(U型)
	4号人孔
	5号人孔
	5号人孔丸型
	特1号人孔
	楕円人孔(V型)
	特殊750mm人孔(U型)
	特殊600mm人孔(V型)
	特殊600mm人孔(U型)
	特殊450mm人孔(V型)
	特殊A型人孔
	特殊B型人孔
	特殊ブロック人孔
	特殊人孔
	矩形人孔
	階段人孔
	扇型人孔
	扇型階段人孔
	矩形渠用人孔(立上り部コンクリート打ち)
	矩形渠用人孔(立上り部ブロック積)
	矩形渠用人孔(角型マンホール蓋設置)
	小口径塩ビマンホール
	カンイマンホール
汚水公道柵	
汚水宅地柵	
雨水柵	
ダミー人孔	

人 孔 種 別	不明
	歩道用マンホール鉄蓋
	鍵付歩道用マンホール鉄蓋
	歩道用角型化粧マンホール蓋
	車道用マンホール鉄蓋
	耐圧人孔蓋
	コンクリート蓋
	車道用デザイン蓋
	角型マンホール蓋
	歩道用デザイン蓋
	親子蓋
	そう鉄蓋
	耐スリップ性グラウンドマンホール蓋
	鍵付車道用マンホール鉄蓋(T-14)
	鍵付車道用マンホール鉄蓋(T-25)
	鍵付歩道用デザイン鉄蓋
	鍵付車道用デザイン鉄蓋(T-14)
	鍵付車道用デザイン鉄蓋(T-25)
	公道用汚水柵蓋
	鍵付公道用汚水柵蓋
	公道用化粧汚水柵蓋
	塩ビ用小型汚水柵蓋(車道用)
	宅地用汚水柵蓋
	塩ビ用小型汚水柵蓋(歩道用)
	鍵付車道用小口径塩ビマンホール保護蓋
	鍵付歩道用小口径塩ビマンホール保護蓋
	歩道用1枚蓋(NS1)
	歩道用2枚蓋(NS2)
	1枚蓋(S1)
	2枚蓋(S2)
	3枚蓋(S3)
	揚蓋(NK-1)
	揚蓋(NK-2)
	揚蓋(NK-3)
ダクタイル蓋	
グレーチング蓋	
無し(ダミー人孔)	
その他	

樹 分 類	不明
	汚水樹(φ350)
	小型汚水樹(神戸市型塩ビ用)
	雨水樹1(NS2、S1、S2-12、S2-16、S2-19)
	雨水樹2(NS1型)
	雨水樹3(NK1型、NK2型、NK3型)
	雨水樹4(MS型)
	1号人孔
	1号人孔(V型)
	1号人孔(U型)
	1号人孔(JIS型)
	2号人孔
	2号人孔(V-1型)
	2号人孔(V-2型)
	2号人孔(U-1型)
	2号人孔(U-2型)
	特1号人孔
	楕円人孔(V型)
	特殊750人孔(U型)
	特殊600人孔(V型)
	特殊600人孔(U型)
	特殊450人孔(V型)
	特殊A型人孔
	特殊B型人孔
	特殊ブロック人孔
	小口径塩ビマンホール
その他	

樹 種 別	不明
	汚水 宅地樹
	汚水 宅地樹(法面防護型)
	汚水 公道樹
	汚水 特殊接続公道樹
	汚水 掃除口
	検水樹
	雨水樹
	雨水街渠樹
	雨水特殊樹
	雨水 掃除口
	合流樹
	汚水人孔樹
	雨水人孔樹
	合流人孔樹
	その他

人孔工事部位	人孔蓋
	調整ブロック
	斜壁
	直壁
	管口
	足掛金物
	インパート
	床版
副管	

管渠工事部位	部分
	頂版
	床版
	側壁
	底部
	管路

樹 蓋 種 別	不明
	公道用汚水樹蓋
	鍵付公道用汚水樹蓋
	公道用化粧汚水樹蓋
	塩ビ用小型汚水樹蓋(車道用)
	宅地用汚水樹蓋
	塩ビ用小型汚水樹蓋(歩道用)
	汚水デザイン樹蓋
	鍵付車道用小口径塩ビマンホール保護蓋
	鍵付歩道用小口径塩ビマンホール保護蓋
	歩道用1枚蓋(NS1)
	歩道用2枚蓋(NS2)
	1枚蓋(S1)
	2枚蓋(S2)
	3枚蓋(S3)
	揚蓋(NK-1)
	揚蓋(NK-2)
	揚蓋(NK-3)
	ダクタイル蓋
	歩道用マンホール鉄蓋
	鍵付歩道用マンホール鉄蓋
	歩道用マンホール蓋(ダクタイル枠付)
	車道用マンホール鉄蓋
	耐圧人孔蓋
	コンクリート蓋
	車道用デザイン蓋
	角型マンホール蓋
	歩道用デザイン蓋
	揚蓋(OK型)
	グレーチング蓋
鍵付車道用マンホール鉄蓋(T-14)	
鍵付車道用マンホール鉄蓋(T-25)	
耐スリップ性グラウンドマンホール蓋	
その他(鉄板蓋)	
その他	

工 事 内 容	取り壊し復旧工
	コンクリート防護工
	Vカット・モルタル補修工
	目地モルタル補修工
	モルタル補修工
	取り替え工
	据え直し工
	蓋据直し工
	新規布設工
	土砂堆積撤去工
	ライニング工
	薬液注入工
	既設水路内管布設工
	パイプインパイプ工
	樹脂補修工
	目地補修工
	人孔改良工
	樹改良工
	取付管管口閉塞工
	人孔取付け管口仕上げ工
人孔取付管管口閉塞工	
その他	

更 生 工 法	ASS-LH工法	ホースライニング工法
	ASS工法	ポリマーセメントモルタルライニング工法
	CP-CA工法	ラテラル工法
	EPL-R(EPR)工法	レジンモルタルライニング工法
	EPR工法	加圧循環工法(KJ工法)
	EX-T工法	珪酸アルカリ系モルタルライニング工法
	EX工法	止水バンド工法
	FFT-P型工法	止水栓工法
	FFT-S型工法	取付管ライニングS工法
	FFT-U型工法	樹脂モルタルライニング工法
	FRP-S工法	耐酸レンガタイルライニング工法
	FRPTライニングS工法	
	FRPTライニング工法	
	FRP光硬化取付管ライニングS工法	
	FRP光硬化内面補修工法	
	FRP工法	
	FRP内面補修工法	
	FRP熱硬化内面補修工法	
	HL-B工法	
	ICPブリース工法	
	LIP工法	
	MLR工法	
	PF工法	
	PML工法	
	SDライナー工法	
	SKS工法	
	SPR工法	
	SZライニング工法	
	TEP工法	
	Y-N工法	
	Y字管工法	
	インシチュフォーム工法	
	インパイプII型工法	
	インパイプLIP型工法	
	インパイプ工法	
	オールライナーZ工法	
	オールライナー工法	
	オメガライナー工法	
	クリスタルライニング工法	
	グロー工法	
	コーキング工法	
	コーティングライニング工法	
	サイドライナー工法	
シートライニング工法		
シームレスシステム工法		
シーリング工法		
スナップロック工法		
スプレーウォール工法		
セラミックライニング工法		
ダンビー工法		
パートライナーS工法		
パートライナー工法		
パイプフォーメーション工法		
パイプリバース工法		
パッカー工法		
パルテムSZ-B工法		
パルテムSZ工法		
パルテムアポロ工法		

